

「平成 29 年度筑豊地区読書活動推進セミナー」HP 原稿

1 事業名 平成 29 年度「筑豊地区読書活動推進セミナー」

2 期 日 平成 29 年 8 月 21 日 (月)

3 参加者 35 名

4 日程

時 程	内 容
13:30	
13:50	受付
14:00	開会行事 「体験の風をおこそう」運動事業説明
14:20	研修 1 〈説明〉 「読書活動の大切さについて」 筑豊教育事務所 社会教育室 社会教育主事 大石 真也
14:30	研修 2 〈講話〉 「子どもに本を手渡すために」 ～読書の大切さと効果について～ 福岡県立図書館 元副館長 河井 律子 氏
(休息10分)	
16:30	研修 3 〈実演・グループ演習〉 「子どもに本を手渡すために」 ～ブックトークを楽しもう～ 福岡県立図書館 元副館長 河井 律子 氏
16:50	閉会行事

5 活動の実際

研修 1

(1) 内容

研修 1 では、読書活動の大切さについて現在、福岡県がすすめている「子どもの読書活動充実事業」を説明しました。そして、県内で取り組まれている事例と筑豊管内で取り組まれている「うちどく」について活動の様子を紹介しました。

(2) 活動写真



担当者が説明している様子



説明を聞く参加者の様子

研修2

(1) 内容

研修2では、講師の先生から「子どもに本を手渡すために何が大切なのか」というお話がありました。子どもにとって本が楽しみになることが大切であること、読み聞かせから、1人読みに移行するときがとても大切なことを再認識しました。

(2) 活動写真



読書の大切さについて講話する河井氏



講話を聴く参加者の様子

(3) 参加者の声

- 1人読みができるようになるために、本の手渡し方が大切だと気づきました。
- 心に届く本を子どもに手渡したいと思います。
- 本を楽しむということをととても感じました。

研修3

(1) 内容

研修3では、まず講師の先生がブックトークの実演を行いました。テーマとは別にキーワードでお話を続けていく実演に参加者も聞き入っていました。その後、グループになり、各自用意してきた本で演習をして交流しました。

(2) 活動写真



ブックトークの実演を行う河井氏



グループでブックトークの演習を行う参加者の様子

(3) 参加者の声

- 他の人の本の選び方などがわかって、参考にしたいなと思いました。
- 実演を目の前で見ることができて、とても勉強になりました。
- もっともっと多くの本を知ることが必要だと改めて思いました。

6 全体をとおして

この研修会には、学校図書館司書、小・中学校教職員、公立図書館職員、読書ボランティアなど、子ども達の読書活動を支える多くの方々が参加していました。学校・家庭・地域そして図書館がそれぞれの立場において、子どもの読書活動を推進していく上で必要となる知識・技能を習得し、情報を共有できたことは、参加者にとって有意義なものであり、今後の取組みに繋がるものとなりました。講師の先生の「子どもに本を手渡すために、まずは私たちがたくさん本を読みましょう」という言葉が印象的でした。